

3-32 農林水産業（圏域：全市域）

① 施設再編の方針

対象施設
漁具倉庫、前山畜産団地、旧東山小学校、新若草漁港漁具倉庫、楠港漁具倉庫
施設再編の方針
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 前山畜産団地については、今後の在り方について検討します。 ➤ 漁具倉庫は当面は現状のまま維持します。 ➤ 旧東山小学校の木造校舎は利活用が困難なため解体撤去し、土地は(株)東山パレットへの貸付を継続します。

3-32-2 現状分析

① 施設の概要

昭和 35 年に建築された漁具倉庫は、浜町の漁港（朝見川）の埋め立て補償で別府市が整備しました。地元漁業関係者が使用しています。

新若草港漁具倉庫は平成 19 年に、楠港漁具倉庫は平成 20 年に、商業施設建築のための漁業補償で建築された新しい施設です。使用管理は大分県漁業協同組合が行っています。楠港漁具倉庫は商業施設の敷地内に併設されています。

前山畜産団地は、昭和 60 年に地域改善対策農林業団地特別整備事業により開設した養豚場です。

昭和 33 年建築の旧東山小学校は閉校後解体予定でしたが、小学校跡地を地元の農業法人(株)東山パレットに貸し付けるため暫定的に残しています。

② ポートフォリオ分析結果

農林水産業施設は 5 施設ありますが、施設の設置目的、施設機能は異なり、3 漁具倉庫については存続する方針のため、ポートフォリオ分析は実施せず品質状況についての基礎データを掲載するにとどめます。

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)
			築年数 (年)	偏差値	耐震対応率(%)	偏差値	
399	前山畜産団地	1,787.8	29.0	50.8	100.0	55.3	53.1
403	漁具倉庫	156.9	54.0	35.9	0.0	30.0	33.0
622	旧東山小学校	716.3	57.4	33.8	0.0	30.0	31.9
456	新若草港漁具倉庫	240.0	7.0	63.9	100.0	55.3	59.6
457	楠港漁具倉庫	415.1	6.0	64.5	100.0	55.3	59.9

図 81 各指標の基礎データ（農林水産業）

③ 老朽化の状況

漁具倉庫には周辺漁民の道具が保管されていますが、特に維持管理費用は発生しておらず修繕や改修の対象とはなっていません。

前山畜産団地は、昭和 60 年に開設されたものの、使用事業者が撤退した後、利用されていない状況です。従って修繕や補修についても近年では実施されていません。

旧東山小学校は、耐震補強に多額の費用がかかること等により、現在は活用されていません。また、頻繁に窓ガラスが割られるなど、青少年健全育成と安全管理上の問題が生じています。